
Redmine3.2.0 新機能のご紹介

株式会社 **Ankoso**ft

2015年12月8日

目次

Redmine3.2.0 新機能.....	2
概要.....	3
1. CSV ファイルからのチケットインポート機能 (#950)	5
2. フィルターに「説明」項目が追加 (#1159)	7
3. 「予定工数」、「作業時間」の合計時間を「チケット」ページで表示 (#1561)	8
4. ガントチャートで日付表示が追加 (#3034)	8
5. ユーザーページで関連のあるチケット、活動を表示 (#3398)	9
6. Wiki ページに「キャンセル」が追加 (#4285)	9
7. 「新しいチケット」のステータスをワークフローから指定 (#5816)	10
8. 添付ファイル機能の強化 (#10672、#20008)	11
9. 履歴で添付ファイルのサムネイル表示機能 (#13429)	12
10. 「ブロック先」、「ブロック元」項目の条件が強化 (#16621、#21176)	13
11. モバイル端末での表示最適化 (#19097)	14
12. コメント文字数を 1024 文字まで引き上げ (#19885、#19886)	14
13. 「セッション有効期間」の「有効期間の最大値」の値追加 (#20933)	15
14. カテゴリ名の文字数が 30 文字から 60 文字に引き上げ (#20991)	15
15. ユーザー登録時、「メールアドレスを隠す」がデフォルトで設定 (#21042)	16
16. カスタムフィールドの書式に「キー・バリュー リスト」が追加 (#21060)	16
17. ホームでの「最近のプロジェクト」を削除 (#21148)	17
18. 概要でのチケットトラッキングが表として表示 (#20413、#20413)	17
19. 用語の変更 (#20496、#20413)	18
20. 概要でのチケットトラッキングとメンバーの位置を修正 (#21159)	19
株式会社 Ankosoft のご紹介.....	20
「ANKO ALM」のご紹介.....	21

注意

本書は Redmine の情報を提供する目的で作成されております。本書の作成にあたり、正確な記述に努めましたが、本書に対して何らかの保証をするものではなく、本書の内容を元に運用に影響がでる場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

本書の内容は 2015 年 12 月 8 日現在のものであり、内容は事前予告なく変更される場合があります。

Redmine3.2.0 新機能

Redmine3.2.0 新機能のご紹介

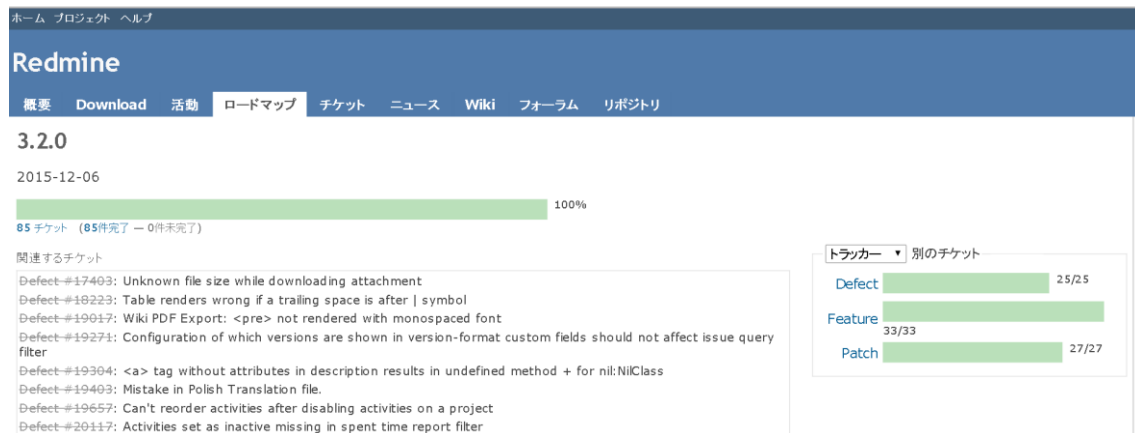
概要

Redmine の公式ホームページである「<http://www.redmine.org/>」の「ロードマップ」で Redmine の各バージョン別の機能を調べることができます。

2015年12月6日にリリースされた「Redmine3.2.0」バージョンでは全部で85箇所の変更がありました。

本書では代表的な20項目に対して説明いたします。

<「Redmine 3.2.0」バージョンの新機能一覧画面>



URL: <http://www.redmine.org/versions/102>

変更された項目の内訳は下記の表の通りです。

区分	変更数
バグ対応	25
新機能	33
パッチ	27
合計	85

Redmine3.2.0 新機能のご紹介

機能別の変更された項目の内訳は下記の表の通りです。

機能名	変更数
Importers	1
PDF export	1
Activity view	1
Plugin API	1
Email notifications	1
SCM	1
Wiki	1
Search engine	1
Gantt	1
Security	1
Administration	1
Third-party libraries	1
Issues workflow	2
Text formatting	2
LDAP	3
Time tracking	3
Attachments	4
Email receiving	4
Custom fields	4
Accounts / authentication	6
Code cleanup/refactoring	8
Translations	11
UI	12
Issues	14
総計	85

1. CSV ファイルからのチケットインポート機能 (#950)

Import Issues from delimited/CSV file

以前のバージョン※1にはなかった、「CSV ファイルからのチケットインポート機能」が 3.2.0 バージョンに追加されました。「チケット」、「ガントチャート」、「カレンダー」タブのサイドバーに「インポート」という項目が追加され、CSV ファイルからのチケットインポートが可能になります。

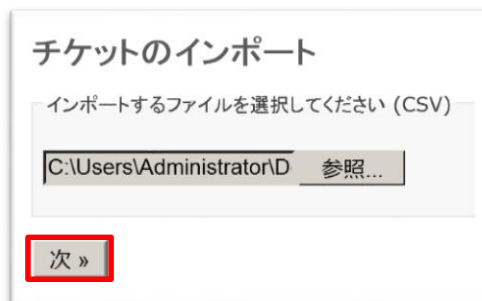
※1：本書で使用する「以前のバージョン」は「Redmine 3.1.2. stable」バージョンを意味します。

<3.2.0 バージョン画面>



1.1. 「インポート」をクリックします。

1.2. 「参照」をクリックしてインポートする CSV ファイルを選択し、「次」をクリックします。



1.3. 「オプション」項目で必要な項目を設定し、「次」をクリックします。



Redmine3. 2. 0 新機能のご紹介

1. 4. 「フィールドの対応関係」項目でインポートするフィールドの関連付けをします。

チケットのインポート

フィールドの対応関係

プロジェクト <input type="text" value="ankosoft"/>	プライベート <input type="text"/>
トラッカー <input type="text" value="バグ"/>	親チケット <input type="text" value="親チケット"/>
題名 <input type="text" value="題名"/>	開始日 <input type="text" value="開始日"/>
説明 <input type="text"/>	期日 <input type="text" value="期日"/>
優先度 <input type="text" value="優先度"/>	進捗率 <input type="text" value="進捗率"/>
カテゴリ <input type="text" value="カテゴリ"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない値は新規作成	
担当者 <input type="text" value="作成者"/>	
対象バージョン <input type="text" value="対象バージョン"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない値は新規作成	

ファイル内容のプレビュー

#	プロジェクト	トラッカー	親チケット	ステータス	優先度	題名	作成者	担当者	更新日	カテゴリ	対象バージョン	開始日	期日	予定工数	合計予定工数	作業時間	合計作業時間	進捗率	作成日	終了日	関連するチケット	開始	終了	プライベート
95	ankosoft	タスク		新規	Normal	詳細設計：データベース	UserName LastName Admin	佐藤 次郎	2015-12-04 05:49			2015-12-17	2016-01-13			0	0	0	2015-12-01 09:09		次のチケットに後続(5日) #93	2015-12-01	2015-12-09	いいえ
94	ankosoft	タスク		新規	Normal	要件範囲	UserName LastName Admin	加藤 俊郎	2015-12-08 03:29			2015-12-28	2016-01-12			0	0	0	2015-12-01 09:09			2015-12-16	2015-12-19	いいえ
93	ankosoft	タスク		新規	Normal	マニュアル作成	UserName LastName Admin	加藤 俊郎	2015-12-04 05:48			2015-12-01	2015-12-11			0	0	0	2015-12-01 09:09		ブロックされている#91, 次のチケットに先行(5日) #95	2015-12-28	2015-12-31	いいえ

◀ 前 インポート

1. 5. インポートが完了すると下図のような画面が表示されます。

チケットのインポート

5件の項目をすべてインポートしました。

1. **バグ #1**: 詳細設計:データベース
2. **バグ #2**: 要件範囲
3. **バグ #3**: マニュアル作成
4. **バグ #4**: 要件定義所のレビュー
5. **バグ #5**: 要求定義書レビュー

Redmine3.2.0 新機能のご紹介

2. フィルターに「説明」項目が追加(#1159)

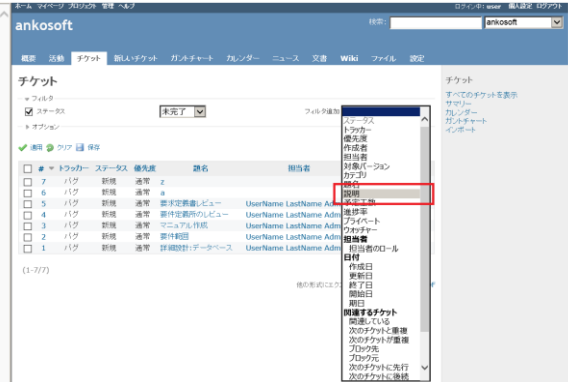
Allow issue description to be searchable as a filter

以前のバージョンでは、「説明」項目をフィルター条件に入れることができませんでしたが、3.2.0バージョンから可能になりました。

〈以前のバージョン画面〉



〈3.2.0バージョン画面〉



3. 「予定工数」、「作業時間」の合計時間を「チケット」ページで表示(#1561)

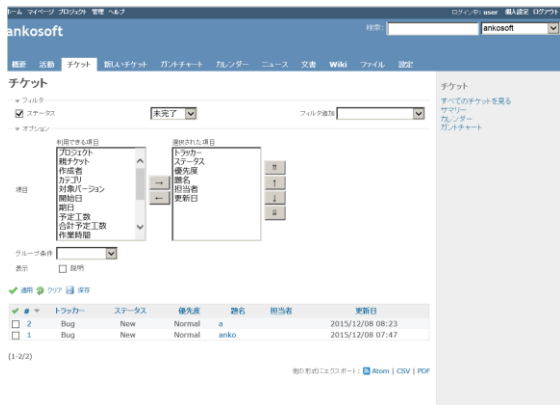
Totals for estimated/spent time and numeric custom fields on the issue list

以前のバージョンになかった「チケット」ページで、「予定工数」、「作業時間」の合計時間を表示する機能が追加されました。

「チケット」ページのオプションをクリックし、合計項目で「予定工数」、「作業時間」にチェックを入れて、「適用」をクリックすると、「チケット」ページに「予定工数」、「作業時間」の合計数が表示されます。

<以前のバージョン画面>

<3.2.0バージョン画面>



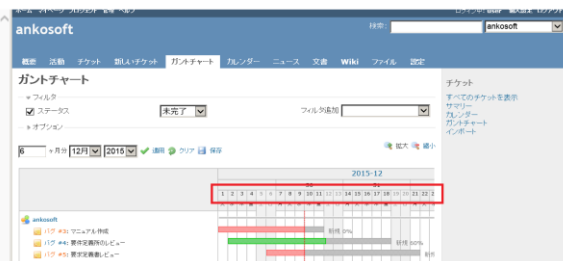
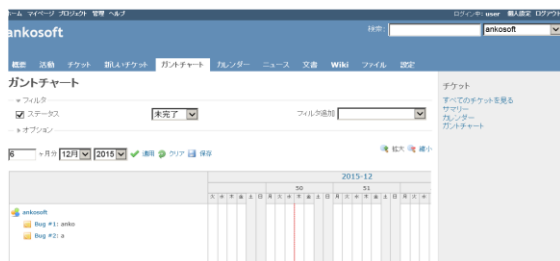
4. ガントチャートで日付表示が追加(#3034)

Add day numbers to gantt

以前のバージョンではガントチャートで週数の表示しかされませんでした、3.2.0バージョンから、日付の表示が追加されました。

<以前のバージョン画面>

<3.2.0バージョン画面>



Redmine3.2.0 新機能のご紹介

5. ユーザーページで関連のあるチケット、活動を表示 (#3398)

Link to assigned issues on user profiles

ユーザーページで「担当しているチケット数」、「報告したチケット数」が表示されるようになりました。

<以前のバージョン画面>



<3.2.0バージョン画面>

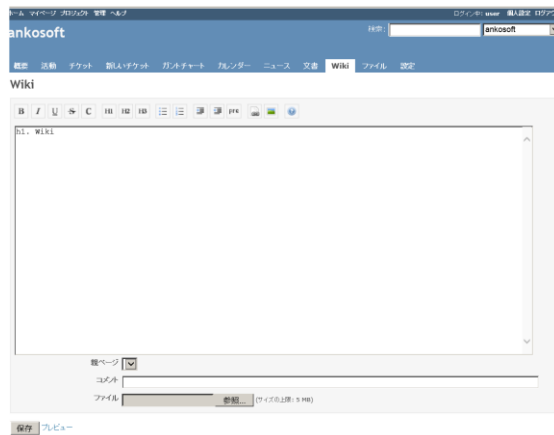


6. Wiki ページに「キャンセル」が追加 (#4285)

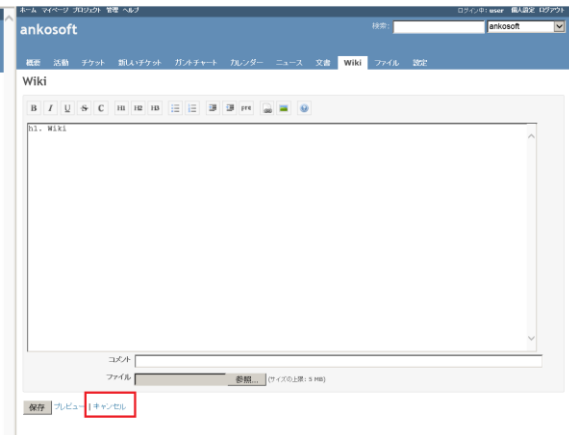
Add cancel button during edition of the wiki

Wiki ページに「キャンセル」が追加されました。

<以前のバージョン画面>



<3.2.0バージョン画面>



Redmine3.2.0 新機能のご紹介

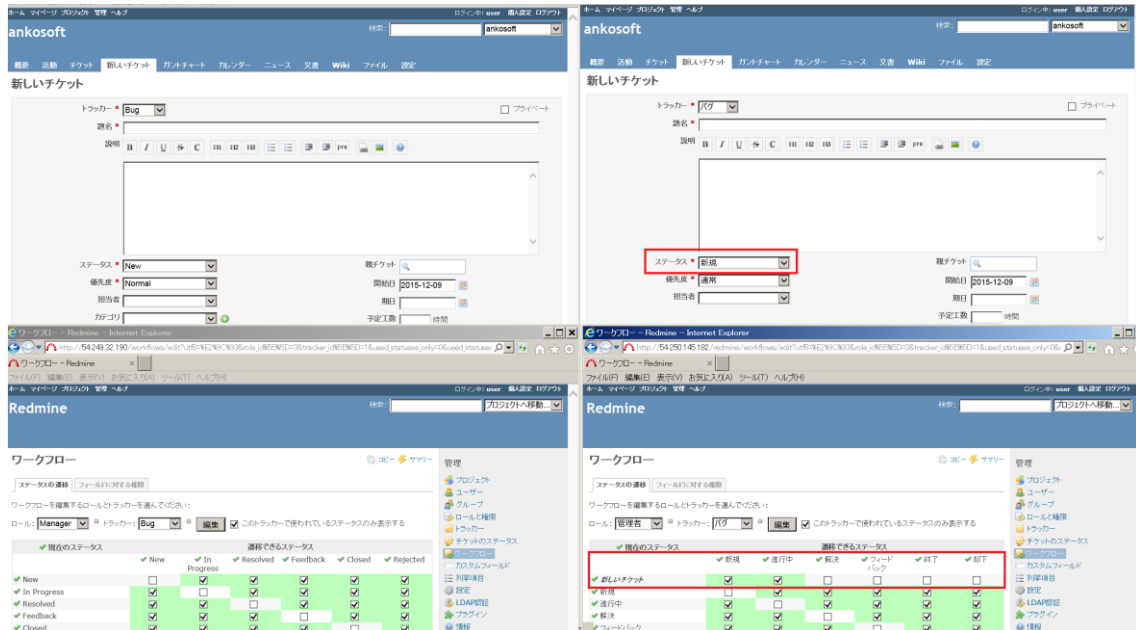
7. 「新しいチケット」のステータスをワークフローから指定 (#5816)

New issue initial status should be settable in workflow

ワークフローの「現在のステータス」に「新しいチケット」が追加されました。これにより、「新しいチケット」が発行された際のステータスをワークフローで指定することが可能になりました。

<以前のバージョン画面>

<3.2.0バージョン画面>



8. 添付ファイル機能の強化 (#10672、#20008)

Extend Filesize in the attachments table for files with size > 2147483647 bytes

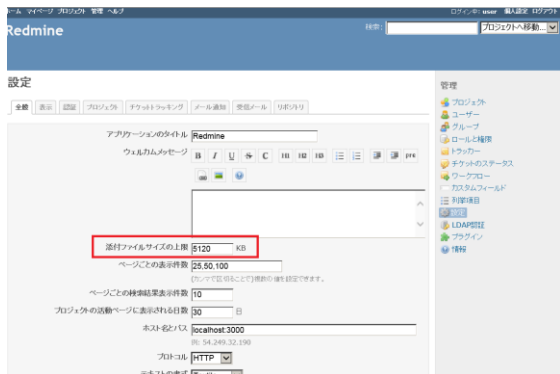
Files upload Restriction by files extensions

「管理」->「設定」で、以前のバージョンでは「全般」タブに「添付ファイルサイズの上
限」項目だけがありましたが、3.2.0バージョンからは「ファイル」タブが追加され、機能
が強化されました。

添付ファイルサイズの上限が 2147483647 bytes まで引き上げられた。

添付ファイルとして許可する拡張子、禁止する拡張子を指定できるようになりました。

〈以前のバージョン画面〉



〈3.2.0バージョン画面〉



9. 履歴で添付ファイルのサムネイル表示機能(#13429)

Include attachment thumbnails in issue history

チケットの履歴の項目で添付ファイルのサムネイルを表示できるようになりました。

<以前のバージョン画面>

<3.2.0バージョン画面>



サムネイルを表示させるためには、「管理」->「設定」->「表示」で「添付ファイルのサムネイル画像を表示」にチェックをいれます。

設定

全般 表示 認証 API プロジェクト チケットラッキング ファイル メール通知 受信メール リポジトリ

テーマ **デフォルト**

デフォルトの言語 **Japanese (日本語)**

匿名ユーザーにデフォルトの言語を強制

ログインユーザーにデフォルトの言語を強制

週の開始曜日 **ユーザーの言語の設定に従う**

日付の形式 **ユーザーの言語の設定に従う**

時刻の形式 **ユーザーの言語の設定に従う**

ユーザー名の表示書式 **UserName LastName Admin**

Gravatarのアイコンを使用する

デフォルトのGravatarアイコン **なし**

添付ファイルのサムネイル画像を表示

サムネイル画像の大きさ(ピクセル単位) **100**

保存

10. 「ブロック先」、「ブロック元」項目の条件が強化 (#16621、#21176)

Ability to filter issues blocked by any/no open issues

Japanese translation change (Blocks / Blocked by)

フィルターのブロック先・ブロック元の条件に、「未完了のチケット」、「なし または完了したチケット」が追加されました。

また、「ブロックしている」が「ブロック先」に、「ブロックされている」が「ブロック元」に文言が変更されました。

<以前のバージョン画面>

<3.2.0バージョン画面>



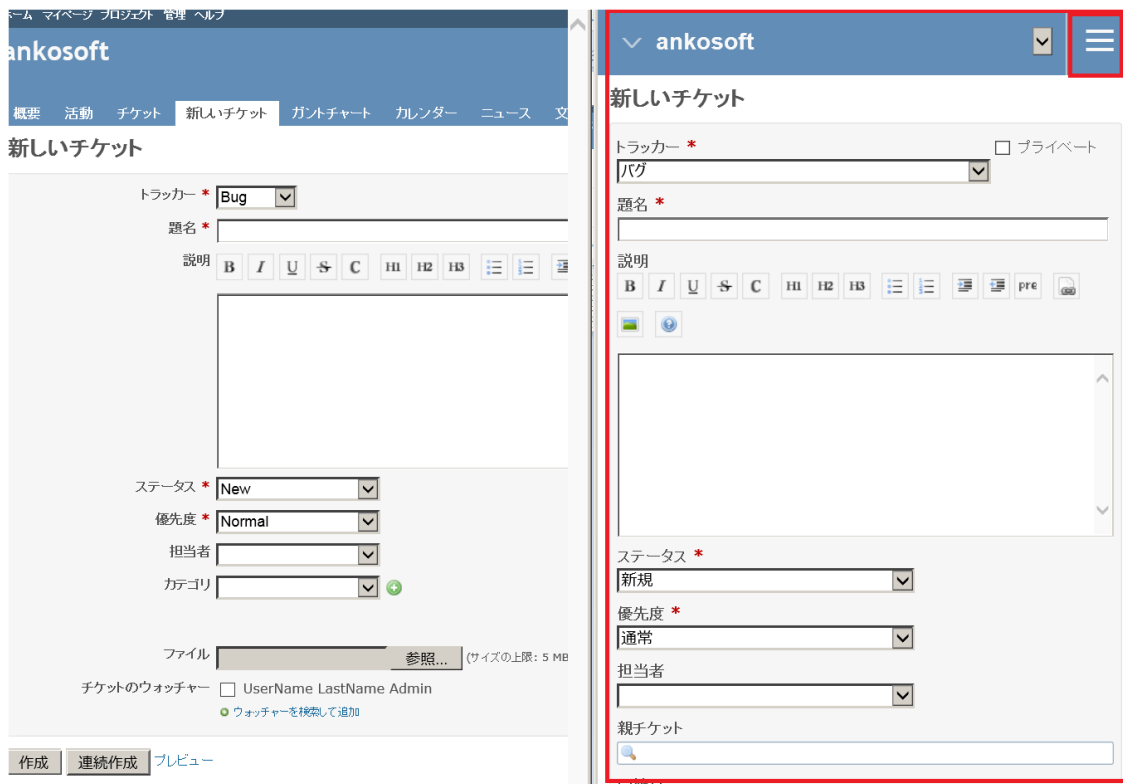
11. モバイル端末での表示最適化 (#19097)

Responsive layout for mobile devices

幅の狭いモバイル端末からの表示時にも、最適化された画面を表示するようになりました。
また、画面の右上でスマートな形式のメニューを表示します。

<以前のバージョン画面>

<3.2.0バージョン画面>



12. コメント文字数を 1024 文字まで引き上げ (#19885、#19886)

Raise time entries comments limit to 1024

Raise wiki edits comments limit to 1024

コメント数の文字制限が 1024 文字に引き上げられました。

Redmine3.2.0 新機能のご紹介

13. 「セッション有効期間」の「有効期間の最大値」の値追加(#20933)

Options for shorter session maximum lifetime

「管理」->「設定」->「認証」で、「セッション有効期間」の「有効期間の最大値」の値に、「4時間」、「8時間」、「12時間」が追加されました。

〈以前のバージョン画面〉

〈3.2.0バージョン画面〉



14. カテゴリ名の文字数が 30 文字から 60 文字に引き上げ(#20991)

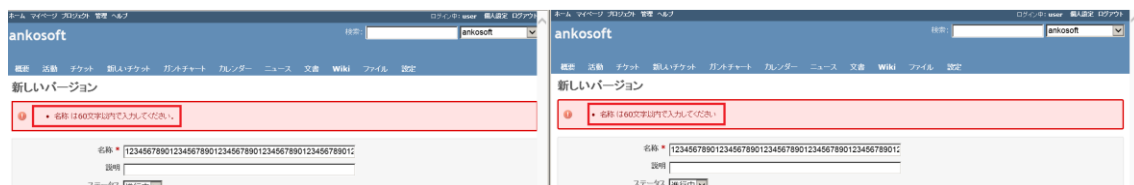
Raise maximum length of category name to 60

カテゴリ名の文字列は、以前のバージョンでは最大 30 文字まででしたが、3.2.0バージョンから 60 文字に変更されました。

それに伴いテキストボックスの幅も広げられました。

〈以前のバージョン画面〉

〈3.2.0バージョン画面〉



Redmine3.2.0 新機能のご紹介

15. ユーザー登録時、「メールアドレスを隠す」がデフォルトで設定 (#21042)

Check "Hide my email address" by default for new users

以前のバージョンでは、「新しいユーザー登録」時、「メールアドレスを隠す」がデフォルトでオフでしたが、3.2.0バージョンではオンになります。

〈以前のバージョン画面〉

〈3.2.0バージョン画面〉



16. カスタムフィールドの書式に「キー・バリュー リスト」が追加 (#21060)

Custom field format with possible values stored as records

「管理」->「カスタムフィールド」->「チケット」->「新しいカスタムフィールドを作成」で、「書式」に「キー・バリュー リスト」形式が追加されました。

〈以前のバージョン画面〉

〈3.2.0バージョン画面〉



17. ホームでの「最近のプロジェクト」を削除 (#21148)

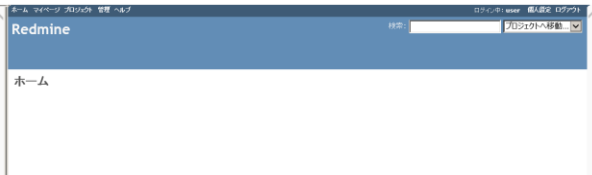
Remove "Latest Projects" from Home page

以前のバージョンでは「ホーム」に「最近のプロジェクト」欄がありましたが、3.2.0バージョンでは削除されました。

〈以前のバージョン画面〉



〈3.2.0バージョン画面〉



18. 概要でのチケットトラッキングが表として表示 (#20413、#20413)

Use a table instead of an unordered list in "Issue tracking" box

Change Japanese translation for "view"

概要でのチケットトラッキングの表示方法が以前のバージョンのリスト表示から 3.2.0バージョンでは表形式で表示されるようになりました。

また、「見る」から「表示」に表記が変更されました。

〈以前のバージョン画面〉



〈3.2.0バージョン画面〉



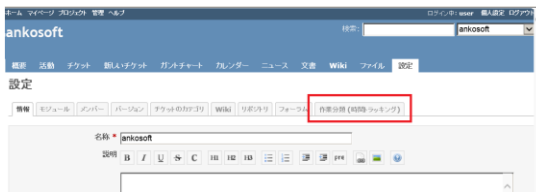
19. 用語の変更 (#20496、#20413)

Change Japanese translation for "time tracking"

Change Japanese translation for "view"

19.1. 「設定」の「作業分類」タブの表現が「時間トラッキング」から「時間管理」に変更されました。

〈以前のバージョン画面〉



〈3.2.0バージョン画面〉



19.2. 「管理」->「カスタムフィールド」->「チケット」->「新しいカスタムフィールドを作成」->「書式」で以前のバージョンは「リストから選択」から3.2.0バージョンでは「リスト」に変更されました。

〈以前のバージョン画面〉



〈3.2.0バージョン画面〉



20. 概要でのチケットトラッキングとメンバーの位置を修正 (#21159)

Hide empty on project overview

「概要」の「チケットトラッキング」と「メンバー」の位置が以前のバージョンで一致していませんでしたが、3.2.0バージョンでは一致するようになりました。

<以前のバージョン画面>

<3.2.0バージョン画面>



株式会社 Ankosoft のご紹介

オープンソースソリューション専門企業 ANKOSOFT

Ankosoft はオープンソース開発を基盤にした会社で、プロジェクト管理と品質管理分野で世界的に有名な Redmine, Jenkins, SonarQube 等に対する技術力を保有しております。



オープンソースの不足した部分を開発して、ソリューションとしてパッケージ販売をしており、技術サポート、教育などオープンソースの普及に努めております。

本社 〒210-0015 神奈川県川崎市川崎区南町 22-6 815 号

五反田事務所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-8 中村屋ビル 3F

TEL : 044-223-6484

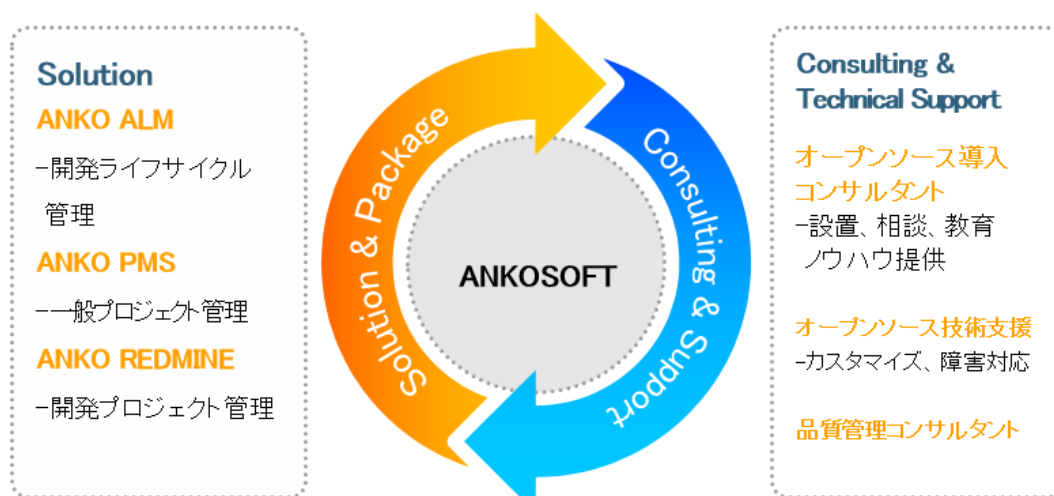
EMAIL : info@ankosoft.co.jp

URL : <http://ankosoft.co.jp/>

デモサイト : <http://demo.ankosoft.co.jp/>

事業領域

Ankosoft の事業領域は、ソリューション開発および販売、オープンソースコンサルタント、技術支援、教育、品質管理コンサルタントなどを主な事業として行っております。



「ANKO ALM」のご紹介

オープンソースのプロジェクト管理システムである「REDMINE」を基盤にして、REDMINE に足りない機能を加えて開発した「ALM」システムです。REDMINE に足りなかった管理機能、利便性、モニタリング機能、ツール間の連動やプラグインのバグなどを改善・開発しました。特に、開発ライフサイクルにおけるツール間の連動は欠かせないものであるため、オープンソース間で連動できるよう開発された製品です。

「ALM」とは、アプリケーションソフトウェアの開発・運用において、全体のライフサイクルを総合的に管理することによって、ソフトウェアの品質や開発生産性、変化への対応力などを向上させるためのもの、もしくはそれらを実現させるためのソフトウェアのプラットフォームツールを指します。

「ANKO ALM」の特長

ツール間の連動

開発、ビルド、テストなど、開発サイクルに必要なツールが互いに連動して自動化されている機能は、開発者に快適な環境を提供し、開発スピードをアップさせます。

ソース品質の見える化

ANKO ALM の使用によって、開発プログラムソースのスケール感だけでなく、テストカバレッジ情報を自動的に分析して、把握することができ、今まで把握が難しかったプログラムの中まで確認できるようになり、より一層堅固で安定した製品開発をサポートします。

オープンソースで構成

ANKO ALM はオープンソースで構成されており、世界中に厚いユーザー層がいて、最新技術を取り入れています。さらに、持続的にアップデートされていて、オープンソース間の互換性も備えています。また、多様なプラグインを提供しているため、必要な機能の追加や開発が可能です。

低費用で構築可能

オープンソースで構成された ANKO ALM はリーズナブルな費用で構築が可能です。商用ソリューションの場合、数千万円の製品が多く、一部機能のみ備えている製品でも数百万円に達するため、導入が簡単ではありません。一方、ANKO ALM は低費用で優れた機能を提供するので、一石二鳥の効果を期待できます。